

メダカ里親の会20年記念誌

農村に春の小川を復活させよう



(版画 市川涼子氏)

平成28年9月

はじめに

メダカ里親の会は平成7年3月に発足した民間の任意団体です。会員は平成28年4月現在で34名、発足以来20年余にわたって”農村に春の小川を復活させよう”を合い言葉に、次のような活動に取り組んできました。

- ・栃木県内のメダカの保護・保全活動
- ・水田水域の生きものの生息場やネットワークづくり
- ・メダカやドジョウなどの調査・研究活動
- ・「田んぼまわりの生きもの」や「農」に関する啓発活動

20年間には色々なことがありました。一方でメダカやドジョウなどの田んぼまわりの生きものについて関心が寄せられ、保全対策が講じられるようになりましたが、他方で生息環境の悪化がすすみ、いつしか身の回りから生きものが消えてしまうという事態が起こっています。こうしたことの背景には「農」の営みの変化があり、快適さや便利さを求める人々の生活スタイルがあり、長期的な効果よりも目先の利益を重視する偏った経済活動があるように思えます。

しかし、私どもはこうした負の要因をただすといった”世直しの”な活動とは異なる位置にあります。その姿勢を一言でいえば、生きものと生息地の環境を把握し、保全策を考えて実施するという”現場主義”であり、”改良主義”です。こうした立場から上記したような調査や対策を仕掛けてきました。

この冊子はそうした私どもの活動記録です。この冊子で意図したのは、まず私ども自身でこれまでにを行った活動をまとめ、公表することです。その上で大方の批判を仰ぎながらこれまでの活動を総括し、今後の方向を探りたいと考えています。ということで、この冊子に目を通して下さった方には忌憚ないご意見、ご批判をお寄せいただければ幸いです。そのことが私どもの活動の改善を促し、ひいてはメダカやドジョウなどの田んぼまわりの生きものと人々とのつながりを取り戻すヒントとなるはずです。

末筆になりますが、これまで私どもの会を温かく支援して下さった方々、私どもの会の活動に反対し妨害した方々、そして陰ながら会の活動を注視して下さった方々のすべてにたいし、深甚よりお礼を申し上げます。

平成28年8月
メダカ里親の会 会長
水谷 正一

目次

口絵	1
はじめに	9
第1部 20年をふり返って	11
第2部 活動の歩み	
Ⅰ. メダカの保護・保全活動	24
1. 里親活動をともなう住民主導のメダカ生息地の保護活動	24
2. メダカ生息地台帳の作成	25
3. パンフ『メダカ保護活動ガイドライン』の作成	26
Ⅱ. 生きものの生息場やネットワークづくり	42
1. 真岡市西沼のメダカの里づくりおよびメダカが生存できる水路の現地指導	42
2. 春の小川づくり研修会の実施	43
3. 水田魚道の設置支援	44
Ⅲ. メダカやドジョウなどの調査・研究活動	62
1. 田んぼにおけるドジョウの増殖と生長特性に関する調査活動	62
2. 栃木県内のドジョウ個体群のDNA解析	64
3. 栃木県産野生メダカの遺伝的多様性	65
Ⅳ. 「田んぼまわりの生きもの」や「農」に関する啓発活動	68
1. 「田んぼの学校」の開催	68
2. 図鑑『田んぼまわりの生きもの、栃木県版』の発行	69
3. 「田んぼまわりの生きもの調査」のアドバイザー活動	70
Ⅴ. 会の運営	79
1. 会則、会員	79
2. 受賞暦等	79
3. 会員の交流	79
巻末資料	
1. 新聞報道	85
2. 新聞記事	87
3. 活動年譜	103

編集後記